

手話の日 2026 — 都内 手話関連イベント & 法制・施策マップ



INTERNATIONAL DAY OF SIGN LANGUAGES

INTERNATIONAL DAY OF SIGN LANGUAGES

「手話は言語」「情報保障は手段」

両者は補完関係にあり、
国・東京都・区市で連動してはじめて、
ろう者・きこえにくい人・すべての
障害者の暮らしを支えます。

9月23日は「手話の日」。
都内で開催されている
手話関係イベントのうち
主なものをご紹介します。



東京都庁舎ブルーライトアップ (2025/9)

① 手話言語法 と 情報コミ法 の連携

項目	手話言語法・条例	情報コミ法・条例
主な対象	ろう者・手話使用者	視覚・聴覚・知的・発達障害等 全ての障害者 (中途失聴・盲ろう 等)
捉え方	独自の文法を持つ 『独立した一つの言語』 として尊重する	情報を得たり意思を伝えたりする『手段や環境』 を保障する
国施策	・子供への手話教育 ・9月23日を「手話の日」 ・大学等の手話通訳者確保	・要約筆記・点字・代読支援 ・音声読み上げ・字幕・IT ・災害時の迅速情報提供
都施策	・乳幼児期の手話獲得相談 ・都立大学での研究 ・都立病院の環境整備	・AI翻訳・透明ディスプレイ ・要約筆記者等の養成 ・都民の責務明確化

② 国・東京都・区市の役割分担

階層	主な法令・条例	役割・スケール	欠落リスク
国 (全国共通 基盤)	・手話施策推進法 (R7.6施行) ・情報コミ推進法 (R4)	・手話の国家定義 ・9月23日を「手話の日」 ・財政・法整備義務	日本全体の標準化 財源確保の法的な 後ろ盾
広域自治体 (東京都)	・東京都手話言語条例 (R4) ・都情報コミ条例 (R7.7)	・手話通訳者の養成 ・乳幼児期からの支援 ・大学・医療の広域連携	「高度な手話通訳 者の養成」や「夜 間・救急医療、災 害時の広域連携」 といった大きな仕 組みが途絶える
基礎自治体 (区市)	・区市の言語条例 + 情報コミ条例 (一休型含む)	・窓口への通訳配置 ・小中学校・事業者普及 ・地域福祉計画	目の前の生活で 手話が使えない

③ 都内 手話関連 イベント (東京都／東聴連)

イベント名 / 日時・場所	主催者	主なターゲット	イベントの「顔」・特徴	プログラム / 参加のポイント
① 手話の日イベント 📅 2025/9/23(水・祝) 📍 東京都庁	東京都 2026年度から 都が主催	手話を知らない 一般都民 ★どなたでも大歓迎	都庁を舞台にした、 手話を社会に広めるための オープンな啓発イベント	・都庁舎のブルーライトアップ ・手話のミニ体験コーナー ・申し込み不要で ふらっと立ち寄りOK！
② みみカレッジ 📅 後日発表 📍 お楽しみに	東京都 東聴連の長年の 要望が実現	手話を学びたい人 ・学生・都民 ★初心者大歓迎	手話を楽しく 「学ぶ・体験する」 参加型オープンカレッジ	・学生や当事者との 手話交流ワークショップ ・きこえない世界を知る講座 若い世代も気軽に参加！
③ 東聴連大会 📅 2027/1/23(土) 📍 ルネ小平	東聴連	きこえない仲間 ・会員・関係者 ★東聴連最大のイベント	東聴連の絆を深め、 日頃の成果や将来の運動を 披露する「決起・交流」の場	・日頃の活動の成果発表 ・仲間との対面交流や アトラクション ・2026年度は旧優生保護法を テーマにした手話劇を上演！
④ 耳の日大会 📅 2027/2/27(土)・28(日) 📍 東京都障害者福祉会館	東聴連	当事者・福祉・行政関係者 ★じっくり学びたい人向け	誰もが暮らしやすい社会を 目指し、福祉や権利について 「考える・学ぶ」2日間	・情報保障や権利に関する シンポジウム ・専門家による記念講演や 福祉機器展示 ・最新の福祉動向が深くわかる！